

訪問型研修

現場が抱える様々な課題に直接対応! 研究所はOJTを応援します!

訪問型研修とは

小・中・高等学校および研究会、部会、市町教委などの依頼を受けて、学校現場に訪問し、講義や演習、振り返りを行うことで現場の主体的な研修を支援する。

支援内容と窓口

全国学力調査・SASAの結果分析による授業改善

窓口：教科研究センター 教科研究課 0776 (58) 2170



その他の教科指導

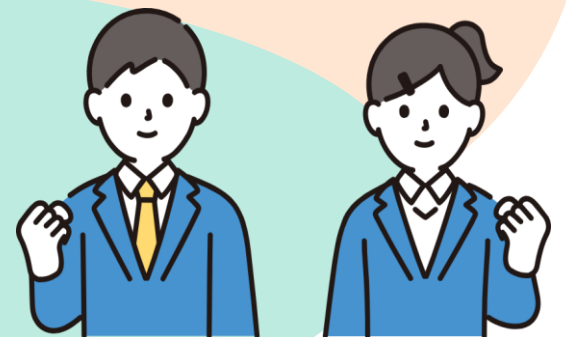
- ・授業改善
- ・各教科の授業づくりや学習評価

窓口：教職研修C 専門研修課 0776 (58) 2160
教科研究C 理科教育課 0776 (58) 2170

生徒支援

- ・ポジティブ教育の実践に関する支援
- ・チーム学校で取り組む教育相談に関する支援

窓口：教育相談C 0776 (58) 2180



学校運営

校内研修活性化

(授業改善、カリキュラム・マネジメント、学校組織マネジメント)

窓口：教科研究 C 学び創造課 0776(58)2170

子どもの学びを読み解く授業づくり

～福井県学力調査(SASA)からみえる子どもの学びとその支援～

SASAは、調査問題を通じて子どもの思考を見取り、授業づくりについて考えるための教材です。子どもの思考が深まる授業デザインを一緒に考えませんか？

研修内容

小学校・中学校のSASA・質問調査を題材とした対話・演習型の研修
・情報提供（県の課題、課題に基づく授業提案、調査結果の分析方法等）
・演習や対話（提案授業の演習、授業づくりに関する参加者同士の対話等）

研修期間

年間を通じて実施可能

研修形態

学校単位または教育委員会単位で申込
参集形式、オンライン形式、学校訪問から選択可能

※研修内容や期間は、
担当の方と打合せの上、
決定します

令和7年度の研修内容例

SASAの分析から国語と算数の授業づくりを考える

情報提供(例)

- ・SASAからみえた子どものつまずき
- ・課題に基づいた授業づくり

対話(例)

「割合」を学ぶ上で、前学年で重要なこと、後の学年につながることは？

SASAを教材として、教師としての学びを深める

情報提供(例)

- ・SASAの問題設計の意図
- ・S-P表を使ったSASAの分析方法

演習(例)

学級のS-P表をもとに、学級の良好な点や課題・学力層等の分析を行う

調査の分析方法と、調査からみえる子どもの姿とその支援

情報提供(例)

- ・質問調査とは（質問項目の意図）
- ・相関分析について

対話(例)

学校の質問調査の集計データを通じてみえる子どもの姿と支援のあり方について

研修参加者の声

研修の内容はどの教科にも関連するものであった。子どものつまずきをみとることが、授業づくりにおいて大切であると実感した。

各学年の学びのつながりが分かった。担当している学年だけでなく、他学年のつながりを意識した授業づくりを行いたい。

グループで話し合うことで、様々な視点や気づきを得ることができ、より自分の考えを深めるきっかけとなった。

S-P表や相関関係など調査の分析方法について知ることができた。学んだことを、授業や学級経営で生かしていきたい。

福井県学力調査

SASA

～教師と子どもの学びを支える～

お問い合わせはこちら

福井県教育総合研究所 教科研究センター
教科研究課

tel 0776-58-2170(直通)

お気軽に
お問い合わせ
ください